

避難所での感染拡大を防ぐために

問合せ 防災危機管理課 (☎ 76 - 1171)

災害発生に伴う避難所への避難については、密集した空間の中での集団生活により、新型コロナウイルス感染症のリスクが高まる危険性があります。

避難所での感染拡大を防止するため、一人ひとりにできることを紹介します。

■ 災害が起きるかも！ 避難所に避難するべき？

避難所生活のストレスを考えると、**可能な限り在宅避難をした方がよい**と言えます。

ただし、住んでいる場所が「小牧市防災ガイドブック」の防災・ハザードマップで浸水想定区域などに該当していたら、行政が発表する防災情報を注視し、警戒レベル(右表)に応じて避難を開始してください。



防災ガイドブックはこちら▶

	情報の種類	とるべき行動
警戒レベル 5	災害発生情報	命を守るための最善の行動
警戒レベル 4	避難勧告 避難指示 (緊急)	速やかに避難
警戒レベル 3	避難準備・高齢者等 避難開始	避難に時間がかかる 人等は避難
警戒レベル 2	洪水注意報 大雨注意報 等	ハザードマップ等で 避難行動を確認
警戒レベル 1	早期注意情報	災害への心構えを高 める

避難所以外への避難を検討しましょう

避難所で密集・密接状態にならないよう、**災害の危険がない親戚や知人の家**などへの避難を検討しましょう。

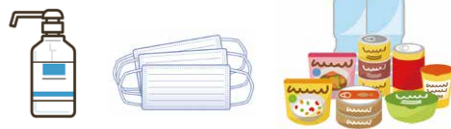


■ 避難所に避難するときは

① 生活用品の持ち込み

避難所の備蓄品には限りがあります。必要となるものはなるべく事前に用意しておき、避難所に持ち込みましょう。

(例) 水、食料、日用品、常備薬、マスク、体温計、使い捨てゴム手袋、消毒液



③ 「3密」の解消

避難所内では、十分な換気やスペースの確保に努めましょう。



④ 基本的な感染症対策の徹底

避難所では、手洗いや咳エチケット等の感染症対策を徹底しましょう。



② 避難所の衛生環境の確保

避難生活で使用する物は、家庭用洗剤などでこまめに洗いましょう。



市は可能な限り避難所の衛生管理の確保に努めますが、感染リスクを軽減するためには、市民の皆さん一人ひとりのご協力が不可欠です。
災害発生時の避難生活を無事に乗り越えられるよう、日ごろからしっかりと準備しておきましょう。

防災危機管理課 松富 祐太

小牧市の人口【令和2年6月1日現在 () は前月比】
総人口：152,814人 (-67人) / 男77,532人 女75,282人
世帯数：68,675世帯 (+17世帯)



大豆インクを使用しています 再生紙を使用しています



市公式
ホームページ